

現代の中東

No. 47

シリア人の国境を越える移動に関する意識と経験
—世論調査の計量分析から読み解く社会意識—

トルコ国境における両義的経験としてのディアスポラ
—ウズンヤイラ高地のチェルケスの事例から—

イラン・アパレル産業の近年の動向
—構造変化の可能性を探る—

アジア経済研究所

IDE-JETRO

2009年7月

目次

シリア人の国境を越える移動に関する意識と経験 - 世論調査の計量分析から読み解く社会意識 - 高岡 豊 浜中新吾	2
トルコ辺境における両義的経験としてのディアスポラ ... 宮澤栄司 - ウズンヤイラ高地のチェルケスの事例から -	18

視 点

イラン・アパレル産業の近年の動向 岩崎 葉子 - 構造変化の可能性を探る -	33
資料紹介	49

編集後記

最近はグローバリズムのせいかな、現地調査先の某国で手に取るTシャツは、プリント柄や英米的なデザインが中心で、かつの個性が失われているのを寂しく感じる。他方、現地の原材料を生かした商品の多くは、依然として独自性が強いうえで高品質低価格なのが嬉しい。乾燥イチジク、バラ水、オリーブ石鹸などに巡り会えると、思わず顔がほころぶ。(問) 1年間トルコで調査をし、1年間米国で文献研究をする時間を与えられ、たくさん「？」でぐるぐるの頭を抱えて昨秋帰国しました。出発前に研究会で報告の機会を与えてくださり、厳しくも暖かい言葉をかけてくださった大塚和夫先生に、この2年間で考えたことをご報告したい

と置いていたところ、思いがけない訃報に接しました。尊敬する先生にもうお会いできないのかと思うと、寂しい気持ちでいっぱいになります。心よりご冥福をお祈りいたします。(村上)

昨年12月に4年ぶりにベイルートを訪れました。2005年以降のレバノンには、首相暗殺、シリア軍の撤退、イスラエルの侵攻、宗派間の武力抗争と、激動の時期だったはずなのに、ベイルートの表通りは何事もなかったかのように賑わっていました。政治と経済は無関係なのか、あるいは復興が迅速だったのか、いずれにせよ景気よくなった4年前と変わらない活況ぶりに意外な気がしました。(土屋)

本誌に掲載されている論文などの内容や意見は、外部からの投稿を含め、執筆者個人に属し、日本貿易振興機構あるいはアジア経済研究所の公式見解を示すものではありません。



現代の中東 No.47

2009年7月15日発行 ©

定価735円(本体700円)

アジア経済研究所

独立行政法人日本貿易振興機構

編集 『現代の中東』編集委員会

発行 研究支援部

〒261-8545 千葉市美浜区若葉3-2-2

TEL 043-299-9735 FAX 043-299-9736

E-mail: syuppan@ide.go.jp



The Contemporary Middle East

July 2009

No.47

CONTENTS

The Syrian Consciousness and Experience of International Migration:
A Quantitative Analysis of Social Consciousness

Yutaka Takaoka
Shingo Hamanaka

New Roots for the Uprooted:
The Ambiguous Experience of the Circassian Diaspora in Rural Turkey
Eiji Miyazawa

Recent Trend of Iran's Apparel Industry:
A Survey on Possibility of Structural Change
Yoko Iwasaki



Institute of Developing Economies

Japan External Trade Organization

3-2-2, Wakaba, Mihama-ku
Chiba-shi, Chiba, 261-8545, Japan

ISSN 0912-8107
定価735円 本体700円